

平成 2 9 年 度

事 業 計 画 書
予 算 計 画 書

自 平成 2 9 年 4 月 1 日

至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

平成 2 9 年 6 月 6 日

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

事業計画

循環型社会の構築を目指し、行政・消費者・産業界が緊密な連携のもとに3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化）活動を推進するため、以下の事業を実施する。

1. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の実施

3R活動に率先して取り組み、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を表彰する「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を実施する。

協議会会員及び地方自治体等の推薦機関を通じて候補を募集し、有識者等による審査委員会において受賞者を選定する。結果は冊子やホームページ等で公開するとともに、記者クラブや報道機関へ広報する。表彰式は10月の3R推進月間に合わせて挙行する（10月31日予定）。

賞の種類は、内閣総理大臣賞、財務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞及びリデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞を予定する。内閣総理大臣賞及び大臣賞は「個人・グループ・学校」及び「事業所・地方公共団体等」の2分野について賞を設ける。

なお、募集及び審査に十分な期間を取るために、平成30年度の表彰を実施する前提で本年度から大臣賞交付申請等の作業を開始する。

また、応募案件の拡大、受賞者の活動内容の効果的な普及啓発を図るための方策について、審査委員会にて検討を行う。

<平成29年度 表彰に関する主要スケジュール（予定）>

（平成29年）

1月	各省後援・大臣賞交付申請
2月	推薦募集開始（推薦機関への案内、ホームページ等で紹介）
4月21日	推薦募集締切り
5月～8月	審査（書面審査、審査委員会）
10月31日	表彰式
11月	次年度に向けての検討（審査委員会）

（平成30年）

1月	次年度各省後援・大臣賞交付申請
2月	次年度推薦募集開始

2. リデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークの普及・利用促進

企業・地方自治体・市民団体・業界団体・学校等の要請に応じて、3R実践活動や啓発・教育活動の場でリデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークを広く使用していただくことにより、3R意識の普及を図る。キャンペーンマークの使用事例はホームページで公開する。

また、功労者等表彰などの場を活用して、キャンペーンマークの認知度向上を図り、3Rに積極的に取り組む企業・グループ・団体等での活用を促進すると共にその関係団体・企業・市民等への波及を図る。

3. 活動強化策の実施

協議会活動を充実させるべく、活動強化策を継続する。活動強化策は企画運営委員会で内容を審議の上で実施する。(詳細は、別添参照)

費用が発生する場合には、企画運営委員会の承認を得た上で「3R推進事業費」から支出する。

本年度に企画した事業で平成30年4月以降に費用が発生する活動強化策がある場合は、平成29年度の「3R推進事業費」予算未使用分を上限として、企画運営委員会で承認を得た上で実施するが、費用計上は平成30年度とする。

なお、本年度に限り、3R推進事業費を増額して170万円とする。これは平成29年度に協議会ホームページの改造を予定するための対応で、改造は概算で70万円程度の費用を予定しているが、単年度の3R推進事業費ではカバーできないため、予算枠を広げる。

次年度の3R推進事業費については100万円に戻し、今回増額した70万円については今後数年をかけて解消するよう努める。

予算計画

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	備 考
収入の部		
1. 会費収入	4,530	
2. 前期繰越収支差額	4,292	参考) 昨年度の繰越額
当期収入合計 (A)	8,822	
支出の部		
1. リデュース・リユース・リサイクル 推進功労者等表彰事業の実施	3,700	表彰式会場費及び運営費、審査委員会関係費、推薦要領・表彰結果冊子印刷費・発送費用、審査結果送付費用、表彰状等作成費等
2. 3Rキャンペーンマークの普及	160	P R 等費用
3. 企画運営委員会経費	0	交通費等は、各委員又はその所属団体が負担
4. 3 R 推進事業費 ・ ホームページ関連費 ・ 優秀 3 R 推進活動発表会 ・ 3 R 推進ポスター制作 ・ 表彰受賞者のその後の展開フォロー等	1,700	ホームページ関連費は、サーバーレンタル費用、ドメイン名使用料等。 ホームページの改造費として、70万円を臨時増額。 その他、事業を実施するための諸経費
5. その他経費	50	理事会・総会開催費等
6. 事務局経費	0	上記1～5に係る事務局経費。 実際に発生する事務局経費は、協議の結果、産業環境管理協会が負担する(人件費及び事務局運営諸費用)
7. 管理費	150	消耗品購入、封筒印刷費、事務通信費、振込手数料等 (直接事務に係る費用のみ。事務局運営諸費用を除く)
当期支出合計 (B)	5,760	
当期収支差額 (A) - (B)	3,062	当期繰越予定額

平成 29 年度活動強化策

1. 企画運営委員会

前年度に引き続き、協議会活動を充実させるべく活動強化策の具体的な内容の検討や意見交換を行い、予算等を勘案の上で実施する。

また、昨年度から立ち上がった東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けたワーキンググループは、継続して活動する（下記 8. を参照）。

2. 3 R 連絡会

行政、会員団体、その会員企業等が相互に情報を提供し合い、広範な 3 R 動向の把握、交流を図る（年数回開催予定）。

3. 優秀 3 R 推進活動発表会

3 R 推進功労者等表彰の大臣賞受賞者に、受賞の取組や受賞後の発展について発表していただき、行政所管、産業分野を越えて広く共有化、普及啓発を図る（平成 29 年度総会后開催）。

4. 3 R 推進ポスターの制作・配布

工場、工事現場、オフィス、流通などのビジネス現場や公共の場において事業者による 3 R 活動の推進を訴求する「3 R 推進ポスター」を制作するため、ポスターデザインコンテストを開催し、10 月の 3 R 推進月間に合わせて配布する。3 R 推進ポスターのデザイン公募、配布時には当協議会の会員団体、関係省庁だけでなく、3 R 関連団体に協力を呼びかけて広報に努め、利用の促進に努める。

5. 3 R 関連団体とのイベント協業（セミナー、シンポジウムの後援、共催、出展等）

関係各省・その地方支分部局や 3 R 関連団体などの活動への後援・参加・協業を積極的に行い、3 R 推進活動の事例（表彰受賞の取組など）の広報に努める。

6. 優れた 3 R 活動事例の普及啓発（3 R 推進功労者等表彰受賞者の活動広報）

昨年度末に開始した平成 25、26 年度の内閣総理大臣賞及び各大臣賞受賞者についての受賞後の取組状況や発展状況のフォローアップ調査、及び過去に実施したフォローアップ調査（対象年度：平成 17～24 年度）の再フォローを継続して実施する。

これらの結果を取り纏め、3 R 推進協議会のホームページで公開している「受賞者のその後の取組」(3 R 推進功労者等表彰 大臣表彰受賞者のその後の取組の紹介)の内容を更新し、優れた 3 R 活動の更なる普及啓発を図る。

7. ホームページによる情報発信の強化

会員を中心とした関係者向けの 3 R 情報発信サイトから、不特定多数に対応した 3 R 情報発信と啓発サイトへと拡充を図る(「(資料)ホームページ改造のポイント」を参照)。

8. 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた活動

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて 3 R の普及啓発を強化する。3 R キャンペーンマークや 3 R 推進ポスターを使った 3 R の啓発活動、協議会会員、3 R 関連団体、表彰受賞者等の 3 R 活動紹介等、幅広く検討する。

以上

(資料) ホームページ改造のポイント

会員を中心とした関係者向けの3 R情報発信サイトから、不特定多数に対応した3 R情報発信と啓発サイトへと拡充を図る。

1. トップ画面から主要な活動内容紹介へのアクセス改善

現在のトップ画面は、ニュースを中心としていて協議会の活動はメニューから辿っていかねばならないが、例えば3 R推進ポスターのデザイン公募のチラシを見て、協議会のホームページを訪れた人が必要な情報に辿り着けるようにする。

<現在のトップ画面>



<改造後のトップ画面>



2. 新たなコンテンツの追加

今回の改造に合わせて、協議会の案内や3 Rについての紹介等のコンテンツを追加して、功労者等表彰や3 R推進ポスターなどの活動を通じて訪れる人に3 Rや協議会の情報を提供する。

3. ページ構造の見直し

ページ構造を見直して、利便性の向上を図る。例として、セミナーの資料はこれまで開催したすべての内容をひとつのページにまとめていたが、回数を重ねることで情報量が多くなってしまったため、これをセミナー単位のページに分割することで、情報をコンパクトにまとめ、また、案内や広報を行う際に協議会内外からリンクしやすくする。